

【2011年八ヶ岳フォーラム】開催のご案内

平素は安全性評価研究会の活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、「八ヶ岳フォーラム」のプログラムが出来上がりましたので、大変遅くなりましたが開催案内をお送りいたします。多数の参加をお待ちしております。

記

1. 日 時：2011年9月2日（金）13：00～

9月4日（日）12：00

2. 場 所：フォーラム会場 八ヶ岳自然文化園

長野県諏訪郡原村 17217-1613

[TEL:0266-74-2683](tel:0266-74-2683)

<http://yatsugatake-ncp.com>

宿泊場所

八ヶ岳原村第2ペンションビレッジ 6施設

「分泊して頂くペンションは、自然文化園至近で徒歩5分程度となります」

宿泊場所は、フォーラム会場でご案内します。

3. 会 費：会員 : 29,000円 二泊三日

宿泊費 12,000円/泊

参加費 5,000円

非会員：34,000円 二泊三日

宿泊費 12,000円/泊

参加費 10,000円

ブック：24,000円 二泊三日

宿泊費 12,000円/泊

参加費 無料

アカデミックディスカウント：26,000円 二泊三日

宿泊費 12,000円/泊

参加費 2,000円

領収書による処理が会社でできない方で、個人

参加される会員（領収書は発行しません）。

★新規非会員（40歳以下の非会員で、会員の参加者1名につき1名が対象）

宿泊費 12000円/泊

参加費 無料

★賛助会員の企業については、非会員の方でも会員としての会費で参加できます。

参加申し込み時に、賛助会員としての参加であることを明記ください。

4. 参加申込み：申込期限 8月22日（月）

メールで事務局までお申し込みください。

安全性評価研究会事務局 福井塔成

（株）スリーエス・ジャパン内

TEL 03-5911-7022 FAX 03-5911-7028

tanigaku@3sjapan.com

下記フォームに記載し、メールでお送り下さい。

2011年八ヶ岳フォーラム参加申込書

貴施設名：

参加者氏名：

交通手段／到着時間：

9 / 2 (金)	9 / 3 (土)	9 / 4 (日)
夕食 宿泊 朝食	昼食 夕食 宿泊	朝食

例

福井塔成 車：13:00

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

交通手段については、下記の原村観光協会コミュニティサイトをご覧ください。なお、ペンション近くのバス停「ペンション下」が廃止になりましたので、昨年まで利用できた茅野駅からの路線バスが利用できなくなりました。現在、代替の乗り継ぎのバスを調べておりますので、後日ご連絡します。電車の場合、富士見駅からタクシーで約15分、中央高速バスの場合、中央道富士見のバス停からタクシーで約10分、が便利です。

<http://www.haramura.com/modules/profile/access.html> → アクセス

★2日前以降のキャンセルについては、宿泊分についてキャンセル料が発生しますのでご承知おきください

5. 企業展示・ポスター展示スペースの提供：

八ヶ岳自然文化園の会議室（セミナー会場の横）を使って展示の場を提供します（無料）。ご希望の方は事務局（tanigaku@3sjapan.com）まで申込みください。

6. 寄付のお願い

ビール券、飲み物、酒類、菓子類の寄付は大歓迎です。開催当日の受付で受け付けておりますので、ご協力をお願いいたします。

7. 送迎について

送迎の車は手配しません。バスまたはタクシーをご利用いただくか、車で参加される方に各人でご依頼してください。

どうしても、手配が見つからない方のみ事務局にご相談下さい。

8. 持ち物

原村は、八ヶ岳中央高原は八ヶ岳西麓に広がる標高 1,300 メートルの高原にあります。朝晩は冷えますので、上着等をご持参ください。

その他：寝間着、洗面用具

9. プログラム

1 日目：9 月 2 日（金）

12：00～ 受付 八ヶ岳自然文化園会議室

13：00～13：30 八ヶ岳フォーラム開催にあたり

幹事長ご挨拶：下村和裕氏（第一三共株）

地域関係者からのご挨拶、事務局からの連絡事項など

総合司会：本山径子氏（ヤンセンファーマ株）

菅井象一郎氏、小林章男氏（日本たばこ産業株）

13：30～18：05

セッション1 副作用研究における新規技術

座長：桜井知子氏（武田薬品工業株）高橋祐次氏（国立医薬品食品衛生研究所）

S1-1（30分）サリドマイド催奇性の分子機構の解明

（ナノ磁性微粒子を用いたサリドマイド標的タンパク質の同定）

羽生尚広 先生（多摩川精機株式会社 東京バイオ開発センター）

S1-2（45分）副作用研究における遺伝子検索エンジンの活用（仮題）

黒田康弘 先生（セレスバイオ）

座長：松平忠弘 先生（武田バイオ開発センター）

S1-3（60分）Application of Metabolomics in Drug Safety Assessment

Dr. Lining Guo 先生（Metabolon 社）

S1-4（30分）（EUにおける霊長類使用禁止決議の衝撃と）生命科学研究に適した新規実験動物”マイクロミニピッグ”の現状

伊藤勝彦 先生（富士マイクラ・北里大学）

休憩（10分）

座長：岩井久和氏（株）三和化学研究所）

S1-5（100分）副作用研究におけるヒト肝細胞スフェロイドの利用 ー代謝物を含めた

肝毒性評価における有用性検討ー（仮題）

スフェロイド分科会

S1-5-1 演題 1

S1-5-2 演題 2

S1-5-3 演題 3

S1-5-4 演題 4

2日目：9月3日（土）

9：00～12：00

セッション2（PVセッション：臨床ー非臨床ジョイントディスカッション）

医薬品の心毒性評価における臨床、非臨床のアプローチ

座長：伊藤真紀先生（塩野義製薬(株)、清水憲次氏（(株)日本バイオリサーチセンター）

S2-1（35分）心毒性をいかに回避するか：臨床試験および非臨床試験の果たす役割
杉山 篤先生（東邦大学医学部医学科 薬理学講座）

S2-2（35分）新しい非臨床心毒性評価ツールの可能性：マイクロミニピッグ
秋江靖樹先生（シミックバイオリサーチセンター）

S2-3（35分）多能性幹細胞由来心筋細胞の創薬研究探索ステージでの応用～
実用化から3年半、創薬研究者との共創～
浅井康行先生（株式会社リプロセル）

S2-4（35分）日本でのQT間隔による心臓安全性評価の実際
池田康彦先生（北里大学東病院 治験管理センター）

S2-5（30分）親電子物質によるタンパク質の化学修飾と心毒性
熊谷嘉人先生（筑波大学大学院 人間総合科学研究科生命システム
医学専攻）

（10分） 総合討論

12：10～12：50 ランチョンセミナー

総合司会担当：未定

LS-1 ニワトリモノクロー抗体およびファージディスプレイ技術（ウサギモノクローについて）
久原基樹先生（(株)医学生物学研究所 技術生産本部 技術開発部）

13：00～14：00 総会

14：10～15：10 セッション3 臨床副作用研究

座長：平間敏靖 先生（グラクソ・スミスクライン(株)、
古川綾 先生（多摩大学医療リスクマネジメントセンター）

S3-1（30分）臨床第1相試験における安全性の見方と非臨床データの役割
中野真子 先生（日本イーライリリー株式会社）

S3-2 (30分) 今後のリスクコミュニケーション (仮題)

小林 巧先生 (ヤンセンファーマ株式会社 PMS 部)

休憩 (20分)

15:30~18:00

セッション4 副作用研究におけるバイオマーカー、メカニズム研究

座長: 牧栄二氏 (安全性試験コンサルタント)、孫谷弘明氏 (株新日本科学)

S4-1 (45分) 安全性バイオマーカー探索と医薬品開発への応用

山田 弘 先生 (医薬基盤研究所 トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト)

S4-2 (45分) Preclinical Safety Test Design, Correlation with
Clinical Safety and Future Directions

ステュワート・ギリール先生 (エーザイ株式会社)

S4-3 (60分) サルモデルでのゲノミクス安全性 (生体影響) 評価試験

中村 伸先生 (NPO 法人プライメイト・アゴラ
バイオメディカル研究所/東京理科大学総合研究機構)

18:30~20:30 懇親会 (レストランリーベ)

3日目: 9月4日 (日)

9:00~11:00 セッション5

S5-1 (120分) グループ討議: 腎毒性バイオマーカー

主旨及び概略の説明: 南谷賢一郎氏 (協和発酵キリン株)

進行: 編集企画委員会

グループ1: 加藤晴香氏 (株住化分析センター)

グループ2: 青木 淳氏 (バイエル薬品株)

グループ3: 孫谷弘明氏 (株新日本科学)

グループ4: 谷川洋一氏 (旭化成ファーマ株)

11:00~12:00 セッション5 まとめ

S5-2 (60分) グループ討議結果報告

12:00 閉会のご挨拶

幹事長ご挨拶

記念写真撮影

解散

以上